

北海道各地から産出する黒曜石
その50

紋別地域～露頭写真～ (Monbetsu Area)



写真1 上藻別Aの黒曜岩溶岩の露頭。上の方には赤く変色した花十勝(茶の石)がある。松脂岩も一緒に混ざっている。



写真2 シマラギ川の林道沿いの露頭。ここにも黒曜岩の溶岩流が流れて分布している。周囲一帯にひろく分布している。



写真3 松脂岩の露頭。黒曜石と共に松脂岩も見られるが、その境界は不明瞭。色彩はくすんだ緑色で全体的に引き延ばされている。



写真4 松脂岩と赤茶化した黒曜石。松脂岩は淡緑～濃緑色が混じっている。赤茶化した部分は鉄分の酸化によるものである。



写真5 松脂岩。様々な模様は流動時にできたものか。ところどころ、黒曜石の小さな粒が含まれる。上藻別Aの露頭で採取。



写真6 一見良質の黒曜石に見えるが、表面には同心円状～渦巻状の割れ目が存在し、不規則に割れる。上藻別Aの露頭で採取。



写真7 上藻別Aの露頭で採取。黒曜石全体に真珠岩が網目状に混じっており、脆いこともあり石器には全く使用できない。



写真8 上モベツ川Bの転石。黒曜石の部分が多いが、それでも良質とは言えない。紋別産の黒曜石は石器の石材としては不適。

Mukai Masayuki

(学芸員 向井 正幸)

旭川市博物館HP

地学シートHP



地学Sheets
Asahikawa City Museum

